



平成27年度定時総会（生涯学習センター）

発足四年目を迎え今後に期待するところ

支部長 粕谷彌太郎（昭28政経）

去る五月十六日、清瀬地域支部発足後、第四回総会が開催されました。

事業報告でイベント活動について俳句同好会が紫紺句会に名を改め、毎月の句会で俳句を楽しみ、ゲートボールはチーム「白眉クラブ」ができ、各大会に参加、入賞レベルに成長。麻雀大会は市民のみなさんとともに定期的に開催されています。多摩湖一周ウォーキングも定着して、今年も開催予定です。

近隣他支部との交流も徐々に広がっています。十月には国分寺地域支部が開催する「史跡めぐりと俳句会」に共同参加します。

一方、会員増強については、役員皆さん頑張っているのですが、苦戦しています。さらに、以前から懸案事項である女子会の発足です。校友会組織の強化には、どうしても女性会員の活躍が期待されていて、新鮮なアイデアと繊細さを清瀬に吹き込んでほしいのです。

会員への情報ツールとしては「会報」が定期的に発行、まだ四号ですが一般会員の投稿の場としても期待されています。パソコン時代を迎え、清瀬地域支部独自のブログが開設され、タイムリーな情報を提供しています。

多摩支部ホームページには清瀬地域支部のサイトもあり、近隣地域支部のイベント情報や会報の閲覧もできます。おかげで近隣地域支部のイベントにも参加、交流を深めています。

来年は発足五年目を迎えます。記念行事として、アンケートの結果と役員の見解を踏まえ、「明大マンドリンクラブ」の招致、演奏会開催を計画しています。

四年目を迎えた清瀬地域支部の課題は、会員の加入促進、女子会創設など問題山積していますが、役員各位と会員の皆様のアイデア、ご意見ご協力を頂きながら一層の発展を願って止みません。「明治はひとつ」です。

## 平成二十七年清瀬地域支部定時総会

幹事長 和田 人男（昭33法）

五月十六日（土）午後一時三十分から三時まで、市生涯学習センターにて開催しました。校友会員六十五名にご案内状を送付したところ、三十二名の方から連絡がありました。出席者は役員を含め二十三名です。

総会は、浅井幹事の司会で定刻に始まり、出席者の自己紹介、粕谷支部長の挨拶、来賓の西山多摩支部幹事長、山口東久留米地域支部長の祝辞を受け、議長選出へと進りました。

議長には、島崎副支部長を選出し、付議事項八項提案、全ての議案が異議なく全会一致で承認されました。

また、昨年の定時総会終了後、光藤副支部長から役員辞任届が提出されました。当地域支部設立に当たり、發起人として心労を共にしてきた私達としましては、引き続き会運営の先頭に立ってご指導を賜りたいと願っておりますが、ご本人の諸々の事情を斟酌し、辞任届を受領することといたしました。今後は一会員として地域支部発展にご尽力をお願いしたいと思います。

## 平成二十七年清瀬地域支部事業計画について

校友会の事業は、会則第三条の目的を達成するためのもので、その目的とは、『本会は、明治大学校友会本部の実施する事業並びに上位支部活動に積極的に参加すると共に、会員相互の親睦・交流を図り、併せて地域社会に貢献する』と規定しています。

本年度の事業計画は、十五項目分類していますが具体的に、定例的に実施する事業、多摩支部定時総会、清瀬地域支部定時総会、役員会並びに懇談会、紫紺句会、広報誌発行、石田波郷俳句大会の支援等です。

随時実施する事業活動は、地域クラブとの交流、多摩湖一周ウォーキング、母校各種競技観戦応援、近隣地

域支部との交流、新会員の加入促進、ゲートボール大会参加、新イベントの開催（演奏会等）などであり、以上簡単に列挙しましたが、事業活動の完全実施には、役員はもとより校友会員の皆様のご協力ご支援がなければ実行できません。

## 多摩支部第十二回定時総会の報告

六月二十七日（土）午後一時より、立川グランドホテルにおいて、会員二六四名並びに多数の来賓を迎えて開催されました。

清瀬地域支部からは、十名の参加申込がありましたが、当日所用で一名が不参加となりました。多摩地域の校友の分布から考えますと、他地域支部より参加者数が多いと思います。

今回の総会は、支部長等の役員改選と会則の一部改正について提案がありました。他の議案と併せて賛成多数で承認されました。

総会後の懇親会は、各地域支部別に席が設置され、無礼講で結構盛り上がりました。また、余興として応援団OB等による明大節の歌と踊りが披露され宴会に花を添えてくれました。

来年度の総会には、校友会の発展と会員相互の親睦を図るためにも、多数の校友の皆様の参加が望まれます。



懇親会会場で・・・



応援団OBの「明大節」

## 地域支部活動に参加してみませんか

組織部長 島崎 光（昭31商）

清瀬地域支部も役員、校友皆様の努力で地域との交流等、次第に活発になってきました。転勤族であった私は、平成のはじめ北海道から清瀬へ転入したのですが、当地に知人も無く、校友会のことも知りませんでした。

そんな或る日、帯広出身の校友から電話をいただき、校友会活動に参加しました。

現在は、ゲートボール、紫紺句会等に参加しています。ゲートボールは、年齢でゴルフができなくなり始めてみ張っていますが、なかなか難しく、それでも健康のためと頑張っています。俳句も同様、上達は望むべくもありませんが老化予防と思ひ、教えを受けている次第です。私にとつて何よりの楽しみは、いろいろな職場で人生経験豊かな諸兄のよもやま話を聞くことなのです。

多摩支部の定時総会も地域支部設立以来、毎年参加していますが、友人からの連絡があつたり、次第に輪が広がっています。会員の皆さん例会にご参加ください。

## ゲートボール「白眉クラブ」の近況

丸山 隆（昭40経営）

- 六月十五日 東久留米、清瀬両市親善大会参加、三位入賞（写真参照）、
- 六月二十日 市民ゲートボール親善大会参加、
- 六月二十二日 青色申告親善大会参加、
- 七月十九日 第四十八回東京都町村総合体育大会ゲートボール競技運営参加、
- 七月二十四日 東京都初心者大会参加、

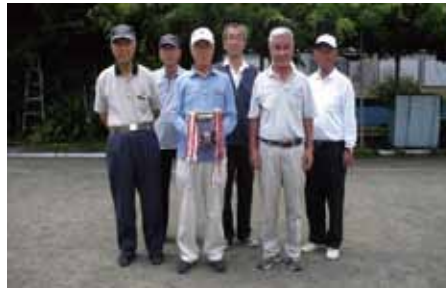
そして月例競技会及び毎水曜、土曜日の練習と、猛暑



の中、フルに活動をしましたので八月は活動を休止し、九月から再スタートを切りました。

我が「白眉クラブ」は、メンバーの技量は平均しており、まとまりがあると評判ですが、肝心の作戦(球回し)が未熟でいつも大事な場面で「優しさ」が出てしまい、勝利に結びつかない傾向があります。

また、ここに来て体調等優れず常時出場できないメンバーが出てきており、白眉クラブのメンバーだけでは、チームにならず新しいメンバーを大募集中です。



三位入賞 (清瀬・東久留米親善大会)



### 私のふるさと若狭小浜

西尾 修一 (昭44年政経)

福井県は昔の国名でいうと越前と若狭から成り立っており、小浜市は若狭の中心として県の南西部に位置しております。

私は高校卒業までの十八年間をこの地で過(こ)して参りました。

若狭湾は陥没隆起によって出来たりアス式海岸で越前岬から西は引き揚げ港の舞鶴、日本三景の天橋立、船のガレージとして舟屋の有る伊根町まで続いており、暖流と寒流がぶつかる豊かな漁場と成っております。また小浜市の周辺は原子力発電所が集中しており、問題となっております。

歴史的には京都奈良との関係も深く朝廷へ「海の幸」を献上する御食國(みけつくに)としての役割を果たしております。鯖街道は京都への物流ルートとして発達し、小浜で取れた鯖が京都へ着く頃には丁度良い塩加減になったと言われております。現在も京都の料亭では「若狭ぐじ」(アマダイ)、「若狭かれい」は京料理には欠かせないものとなっております。

古来戦火の少なかつたこともあり奈良、平安時代の寺社、仏像も国宝、重要文化財として数多く残っており、「海のある奈良」とも呼ばれております。

奈良東大寺の「お水取り」は有名ですが十日前の三月二日には若狭神宮寺では「お水送り」の神事が行われます。これは若狭から送られた水が十日間かけて東大寺二月堂の前にある若狭井という井戸へ届き、そこで汲み上げられた「お香水」が十二面観音菩薩に供えられ「お水取り」のクライマックスとなります。

二〇〇七年のNHK朝ドラ「ちりとてちん」は小浜が舞台となり若狭塗り箸も取り上げられ人気となりました。今でも塗り箸としての全国シェアは八十%を占めています。

### お知らせ

#### 第三回多摩湖一周ウォーキング

恒例行事になった多摩湖一周ウォーキングの日程が決まりました。

日時 十一月二十一日(土)

集合 「西武球場」駅前 改札口外

九時三〇分(雨天中止) 受付開始

皆様のご参加をお願いします。

詳細は後日、市報「きよせ」に掲載します。



若狭ぐじ (アマダイ)



漆器若狭塗りばし



鯖街道の起点「いずみ商店街」



神宮寺のお水送り

また、同じ時期にアメリカ大統領選挙にからみ「オバマ大統領を勝手に応援する会」が設けられ似顔絵をプリントしたTシャツ、鉢巻、饅頭等が売られ盛り上がりを見せ海外メディアの取材もありました。懐かしくなりましたが、町おこしとしては最高に盛り上がった時期でもありました。

故郷へはたまに帰省しておりますが大変誇りに思い良いものだなと思っております。

是非、校友の皆様、福井県にお出掛けください。

#### 第四回麻雀大会を開催

福島 寛(昭37政経)



麻雀を楽しむ市民の皆様と会員

九月二日に明大校友会清瀬地域支部主催による第四回麻雀大会を開催しました。場所は、いつもと同じ健康麻雀荘「たんぼぼ」です。四卓十六名により、六回戦の総合点で順位を競いました。今回は、校友会からは九名が参加し、市内の方は七名が参加されました。優勝者は市内の渡辺さんという方で、六回戦で二十七点を獲得されました。地域支部からは、斎藤強さんが三位に、和田人男さんが七位に、松尾武司さんがブービー賞に入賞され、それぞれ賞品を獲得されました。少し疲れましたが、終了後は近くの居酒屋で歓談し、散会しました。

#### 自然観察会に参加して

福島 寛(昭37政経)

七月二十八日に校友会清瀬地域支部の会員八名で、「清瀬の自然を守る会」主催による自然観察会に行ってきました。参加総数は三十七名でした。コースは自由学園内の自然観察から始まり、立野川の緑地保全地域を散策した後、竹林公園を観察して解散です。あいにくの曇り模様でしたが、執暑にもまぬがれ、天候的には恵まれました。

自由学園は十平方メートルと広大な敷地で園内は緑と自然が非常に多く、大正十年に「生活即教育」を理念に創立されたというだけあって、その重みと歴史を感じます。園内にはアサザ、オニバス、キツネノカミソリ、ミズタマソウ、コバノギボウシ、ミソソバ、ウバユリ等、季節の花がたくさん咲いています。このような広大で豊かな自然環境の中で教育が受けられる生徒さん達は幸せですね。



アサザ



オニバス

学園を出た後、隣接している自由学園「しのめ茶寮」で一休みです。一休み後は立野川の清流沿いを散策。この立野川周辺は平成二十一年に東京都の「平成の名水百選」に選ばれている清らかな湧水の出るところです。その量は一日に四千トンから五千トンの水が湧いているとのことでした。この立野川沿いでもムクゲ、ヒヨドリ

バナ、フタリスズカ等の花を観察することができました。



ミズタマソウ



コバノギボウシ

その小路をしばらく行くと竹林公園に到着です。



ヒヨドリバナ



竹林公園の孟宗竹

竹林公園は孟宗竹に囲まれた林という印象でした。光も遮られ、夏でも涼しい場所です。約三千本群生しているとのことでした。竹は殆どが立派な太さで、一周りが三十センチもあるかと思われるものばかりでした。

観察会を終え、清瀬に戻ったところで駅前の蕎麦店に立ち寄り軽く一杯です。全員いい散策ができた満足気な笑顔があふれておりました。



参加者みんなで記念写真



## 紫紺句会活動報告

榎谷 榮吾 (昭46法)

紫紺句会の活動は活発に行われており、九月二十日(日)に第十五回紫紺句会を開催しました。今年四月より俳句同好会を紫紺句会に改称し、毎月第三日曜日に各自三句を投句し句会形式で開催しています。昨年六月に発足してから一年が経過しましたが、細見道子先生に実作を添削していただきメンバーの俳句は大分上達してきているようです。恒例化した句会後の反省会も反省事項で大変盛り上がりつつ楽しい会になっています。

さて、我が校友会は清瀬市石田波郷俳句大会を支援しています。同大会実行委員会主催の市内小中学校の俳句出前授業(五月中旬〜七月中旬)に協力しました。アシスタントは総勢十五名でしたが紫紺句会より和田人男さん、中村曠さん、佐藤房夫さんと私の四名が参加し、手分けして小中学校の俳句授業のお手伝いをしました。授業では子供たちの豊かな感性に触れて刺激を受けた次第です。

また、十月十日(土)には、国分寺地域支部の企画する国分寺歴史探訪・俳句吟行に参加し、国分寺地域支部、清瀬句会などのみなさんといっしょに吟行と句会を楽しむことにしています。今後も校友会の活動の中枢として紫紺句会の活動を続けていきたいと思えます。



句会風景



反省会の人飲まない人飲む

## 俳句出前授業に参加して

佐藤 房夫 (昭39工)

石田波郷俳句大会事業の一環として、市内の各小・中学校を対象に俳句出前授業を五月〜七月に実施しました。

俳句の先生のアシスタントとして校友会からは和田さん、中村さん、榎谷さん、佐藤の四名が参加しました。初めての参加でしたが小学校の生徒は活発で礼儀正しいのに驚きました。廊下ですれ違うときには大きな声で挨拶を受けました。先生の指導の良さと思いますが、日本の未来が明るいと実感しました。

授業は熱心に聴き、受け答えも立派でした。短時間で俳句を十句以上書く子もいます。出来上がると積極的に見せて指導を受けます。感性豊かな句が多々ありました。

さすがに中学生になると素直でない子達も出てきますが、熱心な子も大勢います。

出前授業はこれまでの積み重ねがあり確実に子供たちに俳句が根付いています。

来年は皆様のご協力をぜひお願い致します。

## 「紫紺俳壇」

### ◎紫紺句会作品集



西日の矢上着に残すリュック跡 穴田 作道

雨に咲く江戸紫の花苜蓿 粕川 偉三男

こぼれ種ほたるぶくろの乱れ咲く 斉藤 強

うす微や写真の妻は若かりし 佐藤 房夫

春の夢マンドリン聴く記念館 島崎 光

曇天のひとときははゆるこぼりかな 中西 宣一

犀星の苔むす庭や蝉さわぐ 中村 曠

夏来たる大樹の影のひと休み 西尾 修一

土起こし白鶴鴿に促がされ 福島 寛

夏木立愛馬背負ひし武蔵武士 福田 信夫

騒がしき教室にある薄暑かな 榎谷 榮吾

鬼灯市杖からげてかつこはき 丸山 隆

孫娘一人で飾るひな人形 山口 昇

新盆や雲の上なる兄恋ひし 和田 人男

## アンケート結果について (報告)

本年四月、清瀬地域支部発足四年目を迎え、会員皆様に満足のいく喜んで頂ける校友会創りを目標に、アンケートを実施させて頂きました。回答をいただいた会員は二十九名、会員の約二十%でした。

アンケート設問は会員が校友会に求めているイベント等について次の設問を設けました。

一、趣味について伺いました。  
スポーツ系が八でゴルフ、ウォーキング、サイクリングなど、次に多かったのが音楽系の七、コンサート鑑賞が多かったのですが、作曲、楽器演奏などもありました。その他、観劇、読書、旅行など多様にわたっていました。

二、希望するイベントは  
コンサート十五、講演会九、社会見学六などです。  
三、そして五周年記念行事について伺ったところ、

圧倒的に明大マンドリンクラブ演奏会二十、グリーンクラブ十二と二分しました。

四、現在の情報提供ツールである会報、ブログ、ホームページの知名度、利用度について伺ったところ、「会報」の内容については、良い二十四、つまらない一でした。

「ブログ」について、知っているが十七、知らないが十二でした。

「多摩支部ホームページ」について、知っているが十九、知らないが十でした。

今後、アンケート結果を踏まえ、新イベントの実施、情報ツールの利用促進などを図りながら進めていきたいと思えます。回答をお寄せくださった皆様のご協力に感謝し、厚くお礼を申し上げます。(広報担当 中村)

「多摩支部ホームページ」と「紫紺ブログ」  
「紫紺ネット」を利用してください

齋藤 強 (昭38工)

昨年五月に多摩支部ホームページがオープン、十二月から清瀬地域支部も「会報」、イベント情報が掲載できるようにになりました。  
また、タイムリーな情報を提供したい思いから、ブログを立ち上げました。

多摩支部ホームページ

(<http://www.mei-ji-tama.net/kiyose-top.html>)

会報、各種イベント、俳句句会開催案内などをお知らせしています

紫紺ブログ

([http://blog.goo.ne.jp/tuyosi1940\\_001](http://blog.goo.ne.jp/tuyosi1940_001))

イベント、サークル活動などタイムリーに記事と写真などでお知らせしています。  
先ずはアクセスして、覗いてください。積極的にコメントをお寄せください。

紫紺ネット

現在十名の会員が登録、意見、お知らせ、相談などに

利用しています。迅速性と会員相互交流にも効果がありませう。  
皆様、メールアドレスをご登録ください！

新会員募集中！

一緒に校友会活動をしましょう！

現在登録会員数 八十四名  
年会費 二千元



新会員紹介

福本 徳昭様 (昭54工) 八月二十日入会  
【プロフィール】出身地 福島県いわき市

趣味 水泳  
現在 清瀬の自然を守る会

訃報

渡辺喜十二様 平成二十七年五月二十八日  
逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。  
なお奥様から「丁寧な」挨拶と「寄付」を頂戴しました。

POSターミナルの導入・開発支援など

有限会社 マイテック

粕谷彌太郎 (S28 政経)

本店

〒204-0022 清瀬市松山1-27-1

Tel 042-492-0611

Fax 042-495-8357

本社事務所

〒113-0033 文京区本郷2-40-7

YG30ビル 6F

Tel 03-3813-7761

Fax 03-3813-7763

URL <http://www.a-mytech.co.jp/>

あなたの街の

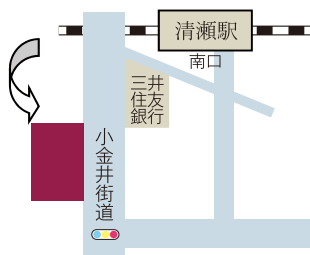
村越自転車店

〒204-0022

東京都清瀬市松山2-3-3

Tel 042-491-0349

村越 勝重 (S50 工・建築)



ウオキユウ  
日本料理 魚久

お祝い宴席ほか各種宴会を  
ご用意しております

清瀬駅 南口 徒歩1分

〒204-0022 清瀬市松山1-9-4

Tel 050-5788-8323

定休日 月曜日

そば処 玉川

そば・うどん・丼もの

配達いたします

宴会承ります

(忘年会・新年会・食事会等)

そば・うどんは自家製麺です  
揚げたて天ぷらの美味しい店

営業時間 11:00~20:30

定休日 水曜日

住所 清瀬市上清戸2-6-28  
(郷土資料館となり)

Tel 042-493-3890